**にいがた協同ネット２０１９年度　第5回運営委員会議事録**

1. **開催日時：2019年8月27日（火）15：10～16：50**
2. **開催会場：新潟市中央区　万代市民会館　303会議室**
3. **参加者：別紙、参加者名簿の通り**

　　高見副代表が進行役となり開会した。

1. **議事**

**１．2019ワーク&ライフフォーラムin新潟参加について**

　　　　　・別紙、参加集約表に基づき実行委員会の所属団体に属さない参加者7名の記念講演・交流会・セッション夫々について再確認した。

　　　　　・江花委員より、ワーカーズ「被災地に起つ」が本フォーラムにセッション参加するが、今後も上映運動を協同ネットの活動の一つとして捉え推進してはどうかとの提案があり、今後、県内の自治体等に呼びかけ開催を目指すこととした。

**２．にいがた協同集会の開催について**

　（１）参加要請活動の実施状況

　　　・県提携協の主要構成団体である県生協連に対し、8月20日に渡邉代表・高見副代表・江花委員の３人が出向き協同集会への参加要請を行った。また、同日、JA中央会に対して、渡邉代表・高見副代表が同様の参加要請活動を実施したところ、両団体とも開催趣旨を理解し協力できる範囲で協力する旨の回答を得たとの報告があった。これを受け、高見副代表より県提携協岡田副委員長に同構成団体への周知を要請することとした。

　　　・秋の臨時国会における協同労働法の制定を視野に、この機会に県民の関心を引き付けるため、新潟日報への記事掲載を堀井委員を中心に働きかけることとした。

　（２）開催準備状況

　　　・別紙、協同集会収支予算に基づき収支項目別に再度確認を行った。その結果、団体会員（5団体）に対し夫々1万円を一律寄付金として要請することとした。

　　　・事務局で新潟県及び新潟市に対する後援申請を本日実施したが、いずれも内容を確認した後に返答する旨の回答があった。

　　　・パネルディスカッションに登壇する事業現場の対応について、ワーカーズ「い~いてらす」及びささえあい「きまま舎」の準備状況が報告された。

　　　・次回運営委員会までに集会当日のタイムスケジュールや詳細な任務分担等を確定するほか、参加者集約等の具体的課題を整理しておくこととした。

**３．情報交換**

　（１）新潟大学寄付講座の対応について

　　　・齋藤副代表より添付資料に基づき講座内容の具体的な報告があった。なお、担当する講師の打ち合わせ会議を次回の運営委員会終了後開催することを決定した。

　（２）労働者協同組合法の今後の動向について

　　　・江花委員より、秋開催の臨時国会の動向についてはハンセン病関連法が最優先との見方があるが12月頃成立するのではないかとの見解が示された。なお、関連して新潟市議会で法律制定の促進決議を行う意義は今後を見据えてあるのではないかとの発言があった。

　（３）協同労働の新規立ち上げに向けて

　　　・西蒲区巻地内の柿団地における起業の可能性について、堀井委員、武田委員、江花委員の３名で現地視察を行ってきたが、ささえあい生協の委託地は休耕の影響で採算ベースが見通せない、また、もう一か所の候補地は従来の協力体制が確立されており期待が持てるが、協同労働でやれるのか等検討が必要との報告があった。

　（４）被爆ハマユウ開花の新聞記事掲載について

　　　・高見副代表より自身で育てた被爆ハマユウが7月23日に開花した写真・記事が、7月30日付の新潟日報に一面で掲載された経緯について報告があった。

以上で第5回運営委員会を終了した。

次回運営委員会は、9月24日(火)に新潟大学駅南キャンパス「ときメイト」で開催を予定する。

以上（文責:中村）